創造

進路だより就職編 第5号

令和6年3月18日発行 種子島高校 進路指導部 就職指導係



何のために働くのか?

卒業式が終わり、校内の桜や野草の花も少しずつ開花しつつある今日この頃、皆さんの心中はいかばかりでしょうか?私たち教員にも皆さんと同様、高校・大学生活を送る中で、卒業後どのような職業に就いたらよいのかと悩む日々が多々ありました。

現在の日本の経済は、皆さんが就職活動を考えるうえで非常に困惑しそうな状況にありますが、それでも日本の技術力は衰えを知りません。どんな状況下でも日本の企業は先人の方々のお陰で不況を乗り越えてこられました。

さて、皆さんの殆どは親元を離れる可能性が高いかと思います。そのためには、親離れできるだけの自立心をもつことが大事かと考えます。それを学習できる場が、長期休業中のアルバイト体験であったり、インターンシップでの就業体験であったのではないでしょうか。体験を基にした進路選択をするのが一番良いとは思いますが、就職後のミスマッチなど、考えもしない事態が発生する場合もありますので、ご家族や担任の先生方ともよく相談したうえで進路選択をしてもらえたらと思います。

何のために「働く」の?

- Ⅰ 世の中のお役に立ちたいため!?
- 2 収入を得て一人暮らしの生活基盤を作りあげたいため!?
- 3 高校で学習したことを発揮したいため!? など、これはほんの一部にすぎませんが、さまざまな角度から「働く」ということの意義が考えられます。世の中に、人のお役に立たない仕事などありませんし、人との関わり合いのない仕事もまずあり得ません。必ず何らかの形でお世話になっておりますので、I・2年生の皆さん、是非今一度働くことの大切さを考えてみましょう!

就業体験学習





I 0月に行われた就業体験学習の様子です。多業種にわたり2年生の皆さんは体験をいたしました。 そこから得たものを今一度フィードバックしてください。来年度 I 年生の皆さんは I 0月に就業体験をしますが、今からでも結構ですので地元企業のリサーチをしてみてください。

島内企業説明会

3月 I 2日(火) I 4時30分より本校にて行われました。23事業所の参加で、生徒の皆さんが希望した2事業所の説明をそれぞれ受けました。









事業所の担当者様からの情報を、大切に記録していましたね。感想記入用紙にもありましたが、将来の設計図というものは、今は漠然とでしか捉えきれないかもしれません。ある程度の見通しがなければ、どこかで困る時がやってくるのではないでしょうか?焦る必要はないですが、必ずどこかで決断を迫られる場面がやってきます。他人事のように思わず、自分自身に目を向ける時間を少しずつでも作ってほしいです。

キャリアガイダンススタッフ 今給黎 光子先生「I・2年生の皆さんへ、進路実現へ向けてのアドバイス」3年生が卒業式を終えてそれぞれの進路に巣立ち、残った1・2年生の皆さんはあと少しで進級です。今後皆さんは新学期に入ると各々が自分の進路に向き合いながら日々を過ごすことになるでしょう。12日の島内企業説明会のお話を聞いて自分のビジョンが見えた人もそうでない人も、新学期に向けて早めに行動するフットワーク(機動力)を心がけて準備して下さい。自分の未来を理想に近づける第一歩と捉えて精一杯頑張ってくださいね。皆さんの成長を楽しみにしています。